

琉球大学学術リポジトリ

外資系企業等の取扱い（対米折衝）(2)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-31 キーワード (Ja): 在沖縄米商工会議所, 愛知・マイヤー, 東郷・スナイダー, 在沖縄外国系企業, 企業諮問グループ (BAG), 大河原・スナイダー, 吉野・スナイダー, 吉野・井川・スナイダー, 沖縄返還, 擬問擬答, BAG会合, スナイダー公使 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43427

四六一八 五三〇申入

秘
無期限

アメリカ局長
参事官
条約課長 北米二課長 北米一課長
条約課長 北米二課長 北米一課長

外資問題
(在京米大使館からの申入れ)

46.1.8
米比1

1. 8日在京米大使館 ミニッツ書記官
は北米1課佐藤に対し次のとおり
申し越した。(別添同日ダイレクトの原に対し同様の
申し入れがあった。)
(1) 在京米大使館と在沖米側との
打合せ会議が1月22日に開かれる
ことになった。その際 BAG (Business
Advisory Group) を併せて開かれる。

スターン会社と右会社に次第が定まっている。

(2) 在京米大使館としては、在沖米企
業から本件問題 ~~について~~ 日本

政府の検討がりが遅いことにつ
いて教々の苦情を受けており、また

る22日のBAGにおいて今まで言
っているよりもさらに具体的なことを

書きものにして説明しない限り、情
勢をうまく收拾することはできない

のではないかと考えに至っている。
在沖米企業側が特に要望

しているのは、(1) クエスチョネアにあ
いて質問を提示しているにもかかわらず

ら回答が寄せられていないこと。
(日4側から)

検討を進めている次第であり、22日の会議までに具体的な点に

ついて回答できるものかあればお知らせすべし旨とりあえず~~済ませ~~
おいた。

3. 上記の次第もあり、前記^付1(1)(ロ)の点につき関係各省の意向を聴

取ることとしたい。
①、米側には~~俾へ~~つき検討す